

里山のある町角

プランナー養成講座を開講します。

4月

【集合】つくばエクスプレス「つくば駅」 *終了後、つくば駅までお送りいたします。
(セミナー会場より45分前後)

【セミナー会場】①つくば市のとある集落の古民家にて

②筑波山温泉 双神の湯「筑波山江戸屋」(寛永5年(1628年)創業)

9日・10日

[Monday] [Tuesday]

【定員】30名(両日&宿泊参加)

11:50集合 15:00終了 【参加費】45,000円/人(税別)(資料代・講師料(交通費含)・バス代・会場代・宿泊代(交流会費・10日朝食含)・10日昼食等)

座学・プランナー養成塾 講師/田瀬理夫(ランドスケープ・プランタゴ代表)

【課題設定】昔からの集落の中に、新しい一角(住宅地)を計画する。

課題設定の対象とする土地は、つくば市により区域指定(都市計画法の規定に基づく開発行為の許可等の基準に関する条例)された区域。旧集落の中に「里山のある町角」をテーマに住宅地計画を作成し、講師の田瀬さんと一緒に検討します。田瀬さんからは、課題設計に入る前に、設計のための材料や、幾つかの手法についてお話いただきます。

「集まって住む」プランニング事例から

講師/趙海光(ちょう うみひこ) (建築家・ぶらんにじゅういち代表)

かつての町家は、前面道路と接し、お隣の建物と接し、という造り方でした。しかし、今の建築基準法は、道路後退・隣地境界からの後退が強いられています。これを逆にとり、それによって生じた空き地を積極活用する方法を、趙さんは「現代町家」で方法化されました。そのプランニング手法は「集まって住む」ことの魅力を現代に蘇らせました。

座学に先立っての報告会

課題設定の土地を見学した後、地権者の塚本さんの自邸にて報告会を開きます。

①研究会への期待 塚本康彦 (つくば・桜中部地区まちづくり協議会会長)

②「積極郊外」をプロデュースする 小池一三 (里山住宅博プロデューサー・町の工務店ネット代表)

他、講師交集中。



課題設定の対象となる土地



版画/ただみつみ